

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年7月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				現在、児童発達支援の利用児童が0名のため、保護者評価は対象者がいない。利用開始後は保護者評価を実施し、業務改善に反映する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。				現在、利用児童が0名のため個別のアセスメント・児童発達支援計画の作成実績はない。利用開始時には所定の手順に沿って実施する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				現在、利用児童が0名のため個別支援計画作成に係る職員間検討の実績はない。利用開始後は関係職員で検討・共有する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				現在、利用児童が0名のため計画に沿った支援の実施・共有実績はない。利用開始後に職員間で共有する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。				現在、利用児童が0名のためアセスメント実施実績はない。利用開始後、行動観察等を含めて適切に確認する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。				現在、利用児童が0名のため個別支援計画の作成実績はない。利用開始後はガイドラインを踏まえ必要項目を設定する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。				現在、利用児童が0名のため活動プログラムの実施実績はない。利用開始後は職員間で検討して立案する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。				現在、利用児童が0名のため活動プログラムの運用実績はない。利用開始後は固定化しないよう定期的に見直す。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。				現在、利用児童が0名のため個別・集団活動を組み合わせた支援実績はない。利用開始後は児童の状況に応じて実施する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				現在、利用児童が0名のため支援前打合せの実施実績はない。利用開始後は支援内容・役割分担を確認する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				現在、利用児童が0名のため支援後の振り返り実績はない。利用開始後は気づきや課題を職員間で共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				現在、利用児童が0名のため日々の支援記録は発生していない。利用開始後は記録を徹底し支援改善につなげる。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				現在、利用児童が0名のためモニタリング実績はない。利用開始後は所定の時期に実施し計画見直しを行う。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				現在、利用児童が0名のため個別ケースに係る担当者会議等への参加実績はない。利用開始後は必要に応じて参画する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				現在、利用児童が0名のため併行利用・移行支援の実績はない。利用開始後は関係機関との情報共有を行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				現在、利用児童が0名のため就学移行に係る情報共有実績はない。対象児童が生じた際に適切に連携する。
		(28～30は、センターのみ回答)				

関係機関 や保護者 との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				現在、利用児童が0名のため交流活動の実績はない。利用開始後、児童の状況や地域資源を踏まえて検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				現在、利用児童が0名のため保護者との日常的な情報共有実績はない。利用開始後は継続的な共有を行う。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				現在、利用児童が0名のため家族支援プログラム等の提供実績はない。利用開始後、ニーズに応じて情報提供・支援を検討する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				現在、利用契約者が0名のため個別の説明実績はない。契約時には運営規程、支援内容、利用者負担等を丁寧に説明する。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				現在、利用児童が0名のため意向確認を伴う計画作成実績はない。利用開始後は児童・家族の意向を確認する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				現在、利用児童が0名のため計画説明・同意取得の実績はない。利用開始後は計画を示して説明し同意を得る。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				現在、利用児童が0名のため相談支援の実績はない。利用開始後は相談に応じ、必要な助言・支援を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				現在、利用児童・保護者が0名のため保護者同士・きょうだい同士の交流機会は未実施。利用状況を踏まえて検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				現在、利用児童・保護者が0名のため相談・申入れ対応の実績はない。利用開始時に相談窓口等を周知し適切に対応する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。				現在、利用児童・保護者が0名のため利用者向け情報発信の実績は限定的。利用開始後は必要な情報を継続して発信する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				現在、利用児童・保護者が0名のため個別の意思疎通・情報伝達への配慮実績はない。利用開始後は特性に応じて対応する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。				現在、利用児童が0名のため服薬・予防接種・てんかん発作等の個別確認実績はない。利用開始時に必要事項を確認する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				現在、利用児童が0名のため食物アレルギー対応実績はない。該当児童が利用する場合は医師の指示等を確認し適切に対応する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				現在、利用児童・保護者が0名のため安全計画に基づく保護者への個別周知実績はない。利用開始時に周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				現在、利用児童が0名のため身体拘束に係る個別説明・計画記載の実績はない。必要が生じる場合は組織的に判断し、所定の手続きを行う。